

事務事業評価シート

(H.29)No.	1048	(H.28)No.	1048
-----------	------	-----------	------

事務事業名	老人福祉電話事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	介護・高齢支援室	岩本 靖之	

会計区分	事業コード	141301
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	老人福祉電話事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 老人福祉費	老人福祉電話事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
低所得高齢者世帯の安否確認の通信手段を確保する。
事業内容
家族等の扶養が受けることができず、著しく生計が困難なひとり暮らし高齢者等に対して、市が電話を貸与し支援する。設置工事費、基本料金を市が負担する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.28年度(事業量・取組実績)		H.29年度(事業量・取組計画)		
		基本料金 H.29.3月末(8回線) 設置工事費 1件 撤去工事費 3件	基本料金 2,100円×10件×12ヶ月 設置工事費 2,200円×1件 撤去 2,200円×2件	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
			基本料金 2,100円×10件×12ヶ月 設置工事費 2,200円×1件 撤去 2,200円×2件	基本料金 2,100円×10件×12ヶ月 設置工事費 2,200円×1件 撤去 2,200円×2件	基本料金 2,100円×10件×12ヶ月 設置工事費 2,200円×1件 撤去 2,200円×2件

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		231千円		259千円	259千円	259千円	259千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	231	0	259	259	259
人工数	職員		0.03人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
	臨時職員等		0.05人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
②概算人件費	0千円	310千円	0千円	460千円	460千円	460千円	460千円
①+②総事業費	0千円	541千円	0千円	719千円	719千円	719千円	719千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
高齢者福祉サービス(介護保険外市独自サービス)として、高齢者の安心した在宅生活の継続に寄与している。低所得高齢者世帯の保健福祉サービスの一翼を担っている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
引き続き、事業の啓発に努め、対象者に対し適切なサービスに努める。低所得高齢者世帯の安否確認の通信手段を確保するために、現行での継続が必要である。	